

# 島内 島立ふれ愛コンサート

3月7日「人権を  
考える住民の集い  
島内島立ふれ愛コン  
サート」が、音楽文  
化ホールで開催され  
ました。  
11回目を迎えた今  
年は、柳家さん光さ  
んの落語から始まり  
ました。  
落語といえれば舞台  
は江戸時代が多いで  
すが、「人権なんて  
言葉が無かった時代  
に、町のみんな、長  
屋のみんなで弱立  
場の人を見守ってい  
たんですね」という  
お話のあと、  
「転失気(てんしき)」「  
牛ほめ」の二題の



平成27年3月1日現在

世帯数	2,815	世帯
男	3,436	人
女	3,611	人
総人口	7,047	人



話を鑑賞しました。  
生の落語は初めて、という  
人も大勢でしたが、大きな笑  
い声があがっていました。  
続いて島立小ブラスバンド  
部・島内小合唱部・高綱中吹  
奏楽部の発表がありました。  
少ない人数で頑張る演奏や  
心に響く澄んだ歌声、また  
「仲間を大切に思う気持ち」  
がこもった中学生の演奏に大  
きく暖かい拍手が鳴りやみま  
せんでした。  
最後に会場全員で「世界に  
一つだけの花」を心を一つに  
して歌い、閉会となりました。

島立体協では昨年十月から  
本年三月まで生涯スポーツ・  
レクレーション活動の振興・  
普及を図るため、十一回の生  
涯スポーツ普及員育成講習会  
を開講中です。  
受講後、普及員として地区  
の要望に応じ生涯スポーツ・  
レクレーション活動の普及・  
指導援助。また、松本市スポ  
ーツ推進委員、地区体協、公民  
館と連携し生涯スポーツ行事  
の企画、運営に協力して生涯  
スポーツ活動の普及促進をし  
て行くそうです。  
講習会では関連の講義やス  
マイルボーリング、囲碁ボー  
ル、シャッフルボード、ラダー  
ゲッター、バスケットボールな  
どの実技実習、けが予防スト  
レッチの指導実習をします。

生涯スポーツ・レクレ  
ーションの指導要請やお問い合わせ  
は、島立体育協会、島立  
公民館まで。



## 生涯スポーツ普及員 育成講習会を開講



島立地区の地域づくりの新  
たな試みが花を咲かせようと  
しています。  
10年前まで島立の農業は高  
齢化により衰退気味でした

1月23日より島立公民館に  
於いて、島立地域づくり講座  
が3月13日までの間、4回に  
分けて開催されました。  
地域づくりとは、安心して、  
いきいきと暮らす地域社会を構  
築する為に住民が主体となり  
地域課題を解決していく活動  
や取り組みのことを言います。  
平成26年4月に地域づくり  
センターが設置されて、「住  
民同士のつながり(心の豊か  
さ)を深め『地域愛』があふ  
れるまちへ」をスローガンに  
掲げて活動を開始しました。

島立地域づくり  
が、県・市・農協の新規就農  
者育成事業によりイターン  
で、農業を始められる人が増  
えてきました。  
百瀬謙一さん(41)はその  
1人で、2年前に会社勤めを  
辞めて、島立の農家で研修を  
積んでいます。  
今まで都会に住んでいまし  
たが、親の土地が島立にあっ  
た事が決め手となり、ここで  
就農を決めたそうです。農業  
をやるうと思った理由は、料  
理が好きだった事や、実家が  
生協の宅配をやっており、毎  
週来るチラシに生産者の声  
が載っており、それをみて農業  
を志しました。

今年(2015)の秋より小さい面積で  
すが、キュウリ栽培を開始し、  
慣れてきたら規模を広げてト  
マトなどの野菜に挑戦したい  
と意欲満々です。研修を始め  
て1年を越えましたが、作物  
が成長していく姿を見るのが  
楽しいそうです。

今年(2015)の秋より小さい面積で  
すが、キュウリ栽培を開始し、  
慣れてきたら規模を広げてト  
マトなどの野菜に挑戦したい  
と意欲満々です。研修を始め  
て1年を越えましたが、作物  
が成長していく姿を見るのが  
楽しいそうです。

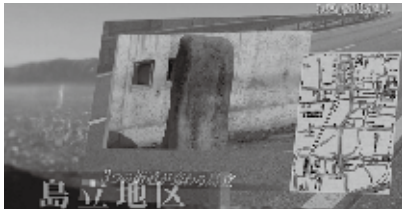


# わがまち再発見

1月、テレビ松本で放送された『わがまち再発見(島立地区)』をご覧になりましたでしょうか。地域に暮らす人に地域活動への関心を更に深めてもらおうと、平成22年度から開始した「松本市地区再発見情報発信事業」によるもので、その成果を記録した映像となっております。地区内から選ばれた委員が公民館活動・地域づくり・史跡・地域文化をまとめ地域の魅力を情報発信しました。

「3つの街道が交わる島立」と題した映像は、野麦・仁科・千国街道等に焦点を当て、物流の要所であった旧街道に沿って行事や神社・史跡・歴史的建造物等を紹介する表題どおりの内容に仕上がっています。

映像DVDは各町会に配布されますのでご覧になられ、勉強を兼ねてウォーキングコースにしてみませんか。



## 島立地区の四季⑤

シリーズ



### 観音様の団子投げ

観音信仰は古くから行われており、島立にも約50基の観音碑があります。昔は信仰仲間が講を作り、観音様の功德に感謝する祭を行いました。こうした講仲間も少なくなり、その中で荒井の観音様では今も毎年11月にお祭りが行われています。この日は紅白の幕を張ったやぐらに小学生たちが登って団子を投げ、地区の人たちは争ってこれを拾います。観音様の祭に荒井のように団子や餅を投げるところは珍しいそうです。



### 落葉焚き

近年まで落葉は腐葉土の原料として菊造りをする人などに愛用され、沙田神社などは秋には落葉集めの人で賑わいましたが、昭和末頃から落葉の利用は急激に減り、高齢者世帯などではその処分に困る状態になり、一方、保育園などでは園児の焼き芋会用の落葉が入手出来ないなど云われています。

御乳神社では高齢者クラブが落葉処理の作業をやり、一部は会員が堆肥用などに持ち帰りますが、大半は焼却されています。可燃物集積所に積まれた緑の袋を見ると何か複雑な心境です。



### 柿簾

島立で柿が多くなったのは戦後のことと云われていますが、干し柿は古くから作られています。渋柿を夜なべに皮をむき、ヘタの部分の繩に挟んで日向に干しますが、干し柿が日の当たると軒下に簾のように掛けられた風景は秋の季節感にあふれています。柔らかくおいしい干し柿を作るのはコツがあるそうですが、冬の炬燵で食べた干し柿の味は忘れられません。親の目を盗んで食べたスリルを思い出す方も多いでしょう。

## 高齢者交通安全教室

二月十七日北栗公民館にて、栗の実会主催の高齢者交通安全教室が開催されました。毎年開かれている安全教室には北栗町内より二十四名が参加し、松本市交通安全課の女性職員二名の方が講師となり、ゲームも取り入れ有意義な講習会となりました。

高齢者の関わる交通事故が多発している事を踏まえて開催されましたが、交通安全推進は皆に共通した課題です。無事故の鉄則は、自分の経験で判断せず交通規則を必ず守る事です。また、道路は自動車、自転車、歩行者が共存する場所と認識し、お互いの存在や行動を確認し易くする事が大切です。夕方から夜間に於いて歩行者は必ず反射材を着用しましょう。

